

那覇市在宅医療・介護連携推進事業 在宅医療同行訪問研修報告



氏 名：久貝 元喜（介護福祉士／管理者）
所属施設：小規模多機能ケアホームうえの家

分 野	訪問診療
実施日時	令和7年6月19日（木） 13時00分～17時00分
研 修 先	はいさいクリニック 石田 医師、喜岡 看護師
実施報告	○訪問診療対象圏域は16km以内だが、緊急時、すぐに対応できる圏域を対象地域としている。多い時は1日に15件以上訪問する事もある。 ○本人・家族が希望すれば、在宅で病院と同じような治療が受けられる時代になっている。自宅でエコー検査や電気メスを使用した治療も受けることができ、扱っている薬剤の種類も病院と大差がない。 ○病院では専門科医師による専門診察となる事が多いが、訪問診療では総合的な診察を受ける事ができる。 ○訪問診療を希望する人は在宅での生活を続けたい・病院が苦手・病院に通うことが困難等、理由は様々だが、治療が必要になっても家族と一緒に住み慣れた自宅・地域で診察や様々な治療を安心して受ける事ができていた。 ○医師・看護師が自宅訪問し病気に対する診察を行なうだけではなく、その人の価値観・住環境・家族・人生・思い等、その人の背景も併せて知ることができた。時には本人との向き合い方や対応等をご家族へお伝えする事もあり、一番身近にいる家族が良いように変われば、本人も良いように変わっていく。 ○訪問診療計画、訪問ルート、訪問した際の診察や処方の確認等、訪問診療の流れに一連性があり、医師・看護師・事務所の連携がスムーズでチーム力の高さを感じた。

研修を終えて

家族のような温かさがあった。常に声掛けし、寄り添い向き合い安心感がある。
はいさいクリニックの訪問を待ち望んでいる本人と家族の姿がとても印象的でした。その人がその人らしく本人が望む環境と治療を提供する為に「本人が良いのが1番いいんです」と話す石田先生の言葉は訪問診療を受ける人だけではなく、みんなが思うあたり前の思いなんだと改めて感じ、在宅生活を支える・地域での生活を続ける為に、はいさいクリニックのような訪問診療がある事は心強いと感じました。

なかなか覗き見る機会のない現場を知る事で、より連携する意味やたくさんの思いを知る事ができました。

その人を支えるチームの一員として多職種連携し「本人が良いのが1番いい」を支えていきたいと思います。

この度は、貴重な時間を経験させていただき、ありがとうございました。